



競技注意事項

1. 規則について

本大会は原則として以下の規則および競技注意事項により実施する

- 1) IFSC 国際競技規則

2. 競技場使用上の注意

- 1) 荷物は各都県で責任を持って管理すること。また、貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者側が責任を負うことはない。
- 2) 競技場内の全ての電源の使用を禁止する。
- 3) 本競技場は商業施設内に位置するため、大会関係者以外にも多くの一般客が観戦することが予想される。マナーを徹底し、各都県の代表として相応しい行動をとること。
- 4) 会場内での飲食（飲料は可）およびタープ・シート・椅子等での場所取りは一般観覧者の迷惑になるため禁止する。

3. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは正規のものを1枚配布する。上衣背面に確実につけること。すべてのナンバーカードへの加工、変形は禁止する。
- 2) ナンバーカードは各ラウンドでの競技終了後、係員が回収する。

4. 競技について

【リード種目】

- ①競技は、予選及び決勝の2ラウンドで構成される。
- ②予選、決勝共に1ルートでのオンサイトとする。
- ③競技時間は、予選、決勝共に6分とする。尚、最終オブザベーションの40秒は競技時間に含まれるものとする。
- ④決勝進出者は、ジュニアオリンピック方式とし、1つの種別の決勝への定員は6名を最少とし、その種別の参加者数の1/3（小数点以下切り上げ）または10名の内、少ない方とする。

【スピード種目】

- ①本大会では、中学生は国際統一レーン（15m）、小学生は特別レーン（10m）を使用する。
- ②競技は、予選および決勝ラウンドの2ラウンドで構成される。
- ③予選はタイムレース方式、決勝ラウンドは準々決勝、準決勝、3位決定戦、決勝



の4ステージで構成されるトーナメント方式で行う。

- ④プラクティスタイムでは、選手1名につき各レーン1アテンプトずつ試登することができる。
- ⑤予選は、選手1名につき各レーン1アテンプトずつ競技を行い、最も良い記録を当該選手の予選の記録とする。
- ⑥決勝進出者は6名とする。尚、準決勝進出者は、準々決勝の各レースでの勝者と各レースの敗者の中で最も良いタイムを記録した選手1名とする。
- ⑦各アテンプトは30秒以内に終えるものとし、30秒が経過した時点でアテンプトが終了していない場合は、その時点で途中棄権(DNF)として扱う。尚、この規定はプラクティスタイムにおいても適用する。

5. 表彰について

- ①各種別1位～3位までの入賞者にメダルを授与する。
- ②スピード種目は公開種目のため表彰は行わない。
- ③代理表彰は一切認めない。

6. 抗議手続きについて

本大会の抗議手続きは国際競技規則に準ずる。但し抗議供託金は5,000円とする。

7. その他

- 1) 競技運営上、多少の競技日程の変更をする場合がある。
- 2) 盗難・紛失について
主催者側で預かった物品に関しては一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。(遺失物は大会本部で管理する)。
- 3) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は問い合わせること。
- 4) 雨天・荒天による競技の変更・中止については、大会当日の午前6時までに大会実行委員会で判断する。